

秩父駐庵 ちちぶ 舊仙臺藩醫。天保七年一月十八日陸奥國仙臺生れ、
明治二十一年五月二十日没（八三）。舊莊門閥、諱中、幼名精一
郎。江戸に出、内田五郎の算術を學び、杉田成卿、杉田玄端の算
書を修む。蘭文の醫學書を讀み、幕末再び江戸に赴き、日本橋の開
業。維新後再び町奉行、海軍醫、司法省等に出任。大陽曆橋樑表、
「生年未詳讀書子の杖」等の著がある。

